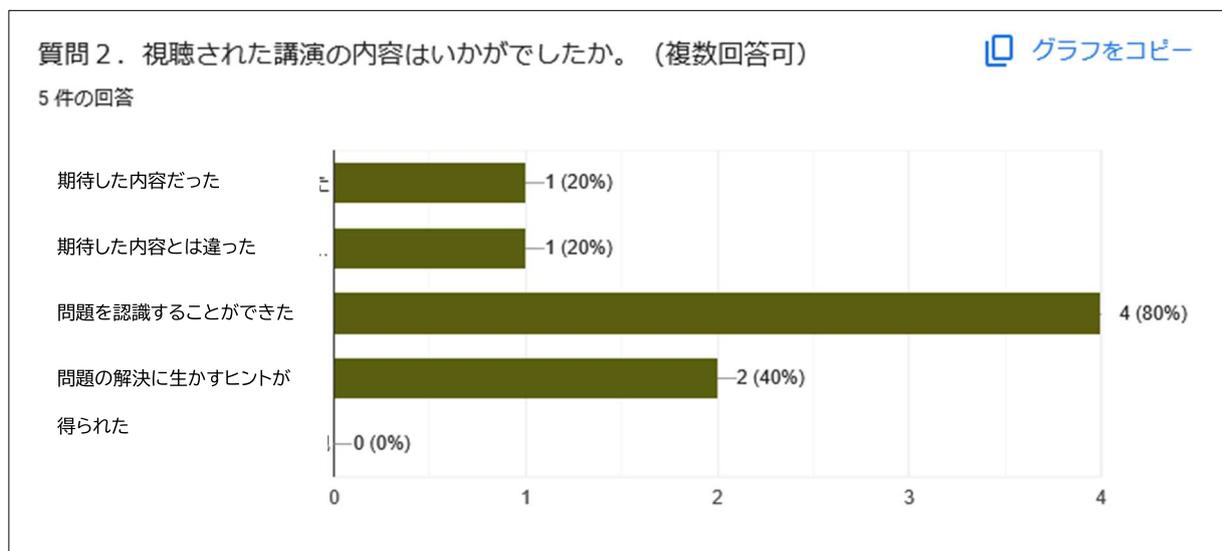
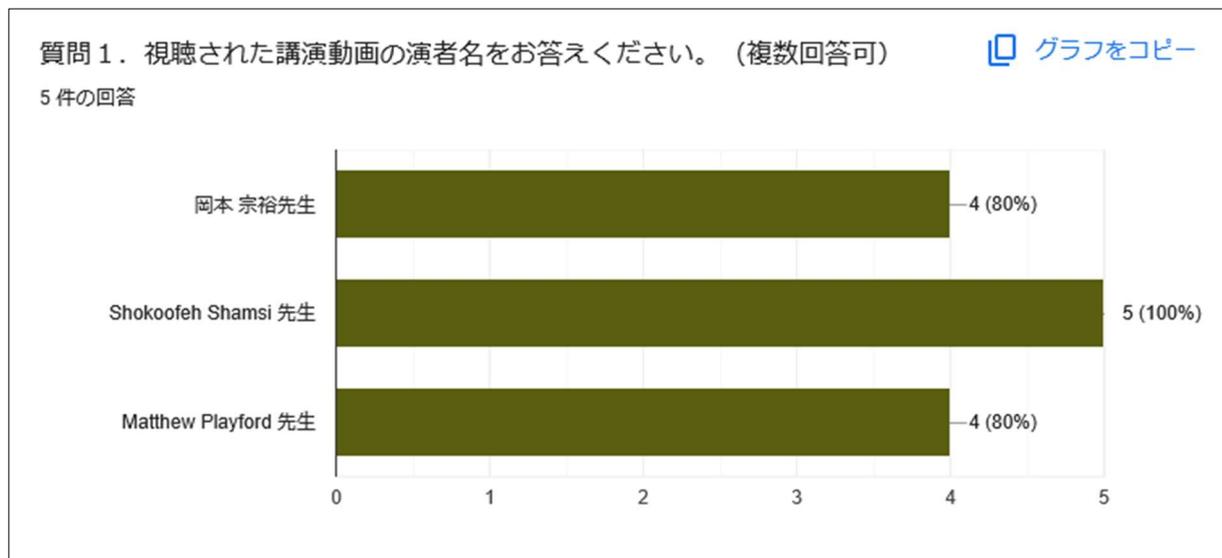


岡山理科大学 獣医学部 国際獣医教育研究センター主催

第8回 国際シンポジウム アンケート集計結果



質問3. 質問2の回答内容を具体的にお答えください。

- (1) 国ごとで人々のアニサキスへの認識が異なることが興味深かった。
- (2) 岡本 宗裕先生：具体的に無鉤条虫や有鉤条虫が宿主転換した歴史があること等、今まで詳しく知らなかったことを学ぶことができた。またサルはその生態から寄生虫の種類が増加しないことも学ぶことができた。一方でヒトは新たな場所へ移動し、新たな食べ物を食べてきたことでヒトの寄生虫生み出してきたこともわかった。
- (3) Shokoofeh Shamsi 先生：具体的に雄のアニサキスが2つの生殖機構をもっていたりすること等、今まで知らなかったことを詳しく学ぶことができた。
- (4) Matthew Playford 先生：「オーストラリアの家畜における人獣共通感染症」について具体的にエキノコックスや肝蛭があり、さらにエキノコックスではその日本においても北海道で分布が早急に拡大したことやまた肝蛭においても宿主である草食動物の家畜で感染が生じた場合、人においても注意が必要であること等を学ぶことができた。
- (5) Shokoofeh Shamsi 先生 人々の好奇心が知識の普及に重要であり、認識を広げることで公衆衛生に貢献できることがよく理解できました。

質問4. 講演の内容について質問がありましたら、演者名と質問内容をご記入ください。

0 件の回答

